

## シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	実 習		
科 目 名	四輪車整備		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	二級自動車整備科二輪自動車整備士コース		
年次学期・曜日・時限	2年前期	・ 月～水曜日	・ 1時限～8時限
時 限 数	60、8時限（期末試験を除く）		
担当教員名	廣石 泰大・川向 芳子		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となる四輪車全般の基礎知識と技術についての実習を実施する。		
授業の目的	四輪車全般の基礎的な内容において、整備を行う上で必要となる基礎知識と技術の習得を目的とする。		
テキスト	①実習テキスト（第2学年用） ②実習テキスト（第1学年用）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	エンジン関連	燃料噴射及び点火制御等、エンジンにおける電子制御関連部品名称とその働き（制御）の確認、点検方法などを習得する	①9～12 ②62～64
第2回			
第3回			
第4回	外部診断機	自動車用外部診断機の使用法やそれに付随する点検、測定等の習得	①14～17
第5回	シャシ関連	シャシ関連の総合的な基礎内容の把握と各部の主な構成部品名称及び働きの確認	①37～48 ②72
第6回			
第7回	電装関連	スタータモータ及びオルタネータについて構成部品名称及び働き確認と、基礎的な点検方法習得	②88～100 101～109
第8回	電装関連	エアコンディショナー関連部品名称及び働き確認と基礎的な点検方法の習得	①82
	ステップ試験（中間試験）	第1回～第8回までの授業内容に関する実技試験	
	期末試験	第1回～第8回までの授業内容に関する実技試験	

到達目標	四輪車の基本的な内容の習得を目標とする。
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、ステップ試験（中間試験）並びに期末試験を合算して行う。
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30%          期末試験の点数 40%          平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p>60～69点＝可、70～79点＝良、80～89点＝優、90点以上＝秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点＝可とする。</p>
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が60点未満の場合。